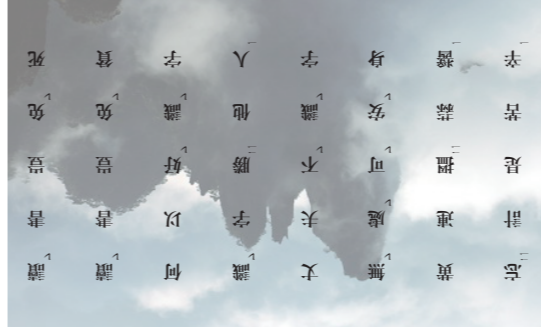


【参考文献】高橋博幸「江戸時代の法とその周縁：吉宗と重賢と定信」と汲古書院 2004

た。日本法制史関係の著作も初めて手に取った次第である。
【参考文献】高橋博幸「江戸時代の法とその周縁：吉宗と重賢と定信」と汲古書院 2004

【参考文献】
一知斎 入矢義高注「陶淵明・寒山」岩波書店、1984.2（新修中国詩人選集：1）
寒山著：和田健次編「寒山詩話」京文社書店、1933.11
入矢義高注「寒山」岩波書店、1954.4（中国詩人選集：第5巻）

【参考文献】
「寒山詩」は謎の書とも言われ作者が一人ではなく数人であるという説もある。そしてまた作者、成立年代、継業事情の凡てが謎である。



中国の唐代、浙江省にある天台山の国清寺に居たとされる伝説的な詩人、寒山（生没年不詳）は著作「寒山詩」の中で読書についても五言律詩で記している。

隠者と読書

生田図書館 鈴木京子

徳川吉宗と笞打ちの刑

田冊子 神田図書館

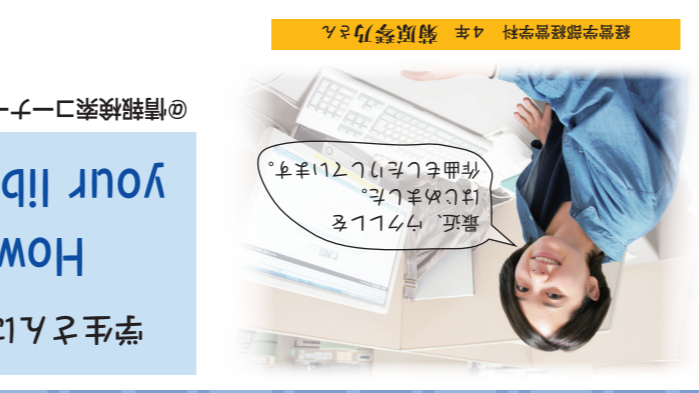
専修大学図書館だより

No.80 2013.7

Contents
・ミニエッセイ
徳川吉宗と笞打ちの刑
隠者と読書
・学生さんに聞きました！
How about your library life?
・インフォメーション
・開館カレンダー
・裏面特集
読書+αの楽しみ READING & DOING

【参考文献】
CINii Articles機関定額制：学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・データベース
日経BP記事検索サービス：日経BP社が発行する主要雑誌約50誌の記事を収録。
企業基本情報、株価情報などを収録。
【参考文献】「日本経済新聞」「日経産業新聞」「日経流通新聞（M）」「日経金融新聞」
【参考文献】「日本経済新聞」「日経産業新聞」「日経流通新聞（M）」「日経金融新聞」

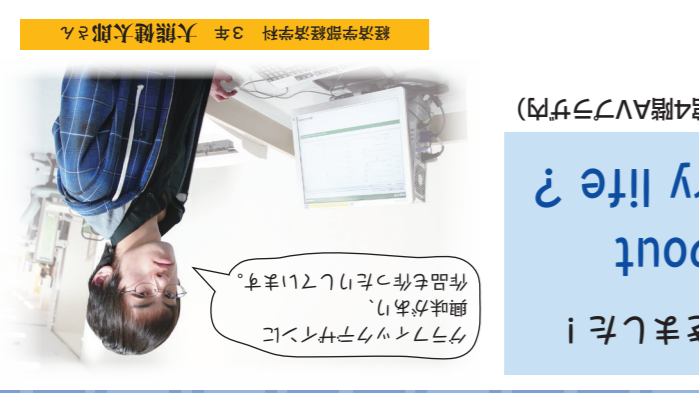
- 今日は何を調べましたか？
● 今日は何を調べましたか？
● 今日は何を調べましたか？



経営学部経営学科 4年 菊原琴乃さん

【参考文献】
本講座では、オンライン・データベースを使い、「情報検索講座」を行っています。
図書館では、オンライン・データベースを使い、「情報検索講座」を行っています。

- 今日は何を調べましたか？
● 今日は何を調べましたか？
● 今日は何を調べましたか？



経営学部経営学科 3年 大熊健太郎さん

開館カレンダー（2013年8月～11月）

Table with 3 columns: 本館, 生田分館, 神田分館. Rows show monthly calendars for August, September, October, and November.

専修大学図書館だより 第80号
発行日：2013年7月15日
編集・発行：専修大学図書館（館長 大庭 健）
〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1
Tel.044-911-1274 URL: http://www.senshu-u.ac.jp/lib/lib.html

図書館講習会（後期）

Table with 3 columns: 生田キャンパス（本館）, 神田キャンパス（神田分館）. Rows list seminar dates and topics.

*申込先 本 館：3Fカウンター、電話（044-911-1276）、メール（lib-serv@acc.senshu-u.ac.jp）
神田分館：カウンター、電話（03-3265-8339）、メール（lib-kan@acc.senshu-u.ac.jp）

専修大学図書館モバイルメニュー
携帯電話から確認できます。
1. 蔵書検索 OPAC (My Library)
2. 開館カレンダー



読書+αの楽しみ READING & DOING

今回の特集では、ブックレビューに加え、その本の印象的な場面を再現しました。本を読み、その舞台に行ってみたい、作ってみたい、食べてみたいなど、読書の枠を越えた魅力をお伝えします。これから長い夏期休暇がはじまります。このような読書+αの楽しみ方はいかがでしょうか!?

読書+料理

生田図書課 中村麻子



梨木香歩著『雪と珊瑚と』角川書店発行

生田分館所蔵 請求記号: J/913.6/N55

REVIEW

家庭の事情で高校を中退し、20歳で結婚するもすぐに離婚。21歳のシングルマザー山野珊瑚とそのこども雪。

雪を預ける場所も働く場所もなく……日々生きることに必死だった時に一人の女性くららと出会う。くらの優しい人柄や的確なアドバイス、シンプルだけれども素材の味を生かした手料理の数々が頑なだった珊瑚の心を開き、珊瑚に新しい夢を抱かせた。料理は人を元気にするパワーがあることに気がついた珊瑚は、様々な人との出会いに支えられ、総菜カフェ『雪と珊瑚』をオープンする。

珊瑚の成長物語である以上に生きることのたくましさや人のやさしさ、成長のヒントをくれる物語。

総菜カフェ『雪と珊瑚』 不動の人気メニュー“おかずケーキ”を再現!!

オープンを開いた。……鍋つかみで次々にパウンドケーキ型や真ん中に穴のあいたシフォンケーキ型を取り出した。「……食事つくる時間がないときに食べる『助っ人料理』なの。一度にいっぱい作って保存食にするのよ。」……「お菓子じゃないの。砂糖の入っていない、おかず入りパウンドケーキってところかしら。……」「具にするものはね、実はおかずの残りなの。例えばシチューの残り、マッシュルームやピーマンを炒めた物の残り、茹でたアスパラガスの残り、なんでもかんでも。料理をつくらるとき、材料がたくさんあったら多めに作って取り分けておくだけなの。次の日それを種に入れ込んで焼くだけ。塩や香辛料やチーズなんかを足すことはあるけど。……おかずケーキをナイフで食べやすく切ると、……」「……冷蔵庫の中に入れておいたら一週間はもつかしら。冷凍したら半永久的」……定番のおかずケーキはなにがあっても不動の人気を誇るたのもしさだった……



おかずの残り物があるということは、日々料理をしているということ。家族のため、そして自分のために毎日ごはんを作るということは、どんなに大変なことでしょう! 日々の努力の結晶である「おかずケーキ」はカフェの定番商品となるのは必然だと思いました。今回作ったケーキの具は、野菜炒め用の具を多めに切っておき、それにチーズを加えて焼いてみました。野菜の甘みとチーズの濃厚さが野菜嫌いの人でも食べられるととても美味しいケーキに仕上がりました。



- ☆ケーキの種 パウンド型(長さ18cm×幅8cm×高さ6.5cm)1個分。
薄力粉 100g/オリーブ油 65g/ベーキングパウダー 小1 1/2/卵 2個
☆今回入れた具 たまねぎ、ブロッコリー、ミニトマト、ベーコン、プロセスチーズ
☆つくりかた ブロッコリーは軽く茹で冷ましておく。たまねぎ・ベーコンも炒めて冷ましておく。
A: ボールに卵をいれて泡で器よく混ぜ、オリーブ油を加えてさらによく混ぜる。そこにふるった粉類を入れさっくり混ぜる。
B: すべての具をAと合わせて型に流し入れ180℃のオーブンで40分焼く。

こんな本もあります!



佐藤裕久著
『一杯のカフェの力(チカラ)を信じますか? : 苦楽(クルトノ)しいカフェ開業物語』
河出書房新社発行
生田分館所蔵 請求記号: J/289.1/Sa85



信太康代著
『パウンド型ひとつで! ケーク・サレ』
河出書房新社発行
生田分館所蔵 請求記号: J/596/Sh25

この本のレシピを参考にしました。ケーク・サレ(塩味のケーキ)とはフランス料理の一種。食事として温かい状態で食べられるケーキのことです。

読書+旅



エミリー・ブロンテ著、鴻巣友季子訳『嵐が丘』新潮社発行

生田分館所蔵 請求記号: X/080/Sh61/Br0

REVIEW

「嵐が丘」(原題 Wuthering Heights)は、19世紀のイギリスの女流作家、エミリー・ブロンテ(Emily Brontë 1818-48)が30年の短い生涯で残した唯一の長編小説である。イングランド北部、ヨークシャー州にあるハワースという荒涼とした大地に紫色のヒースの花が咲きほこる荒野の村が舞台で、作者の故郷でもあるこの場所は、小説を物語る上で登場人物と切っても切り離せない存在として描かれている。タイトルの「嵐(ワザリング)が丘(ハイツ)」の「ワザリング」とは、嵐の時に吹き荒ぶ風の怒り騒ぐ様子を形容したヨークシャー地方の方言で、この小説の世界を象徴している。

物語は、嵐が丘の家政婦ネリーの回想によって語られる。嵐が丘の主人アーンショーに拾われた男の子はヒースクリフと名付けられ、その家の娘キャサリンと互いに愛情を抱くようになるが、兄ヒンドリーと近隣のリントン家からは虐待されて育つ。やがて成長し、キャサリンがリントン家のエドガーと婚約すると、裏切られたヒースクリフは失望して家出をする。そして数年後再び嵐が丘に戻った彼は、アーンショー一家とリントン家を没落させる復讐を始める。キャサリンの死後、夫のエドガーとその娘キャサリンやヒンドリーの息子ヘアトンにも復讐の矛先は向けられるが、次第に彼の恨みと復讐の嵐は止み、亡きキャサリンへの愛憎と、果たせなかった復讐を残して最期を遂げる。

この小説は、ヒースクリフとキャサリンが互いに反発と執着を繰り返しながら、分かち難く結び合った魂が、キャサリンの死によって引き裂かれ、ヒースクリフの死によって再び結び合わされるまでを描いた、宗教観や倫理観を超えた物語といわれている。



「嵐が丘」の舞台へ…

私は大学で英文学を学び、文学作品を通じて、その中に描かれている時代背景や風景描写、そして作者に興味を抱きました。その中でも特に惹かれたのが、エミリー・ブロンテ著『嵐が丘』の世界観でした。目の前に広がる荒涼とした風景、吹き荒ぶ風という厳しい自然描写が私の心にどこか神秘的な風景として刻まれました。そしていつかその場所を訪れてみたいという思いは、イギリス語学留学という形で実現しました。

訪れたのは5月終わりの美しい季節でしたが、往復4時間程のブロンテゆかりの遊歩道を歩く間に、天候は著しく変化しました。雲間から日が射して、丘陵に広がる緑の平野や羊の白い群れを明るく照らすと長閑な田園風景そのものですが、日が雲に隠れると一瞬にして重苦しい景色に様変わりし、寒々とした空気に包まれた瞬間、夕立ちのような雨に遭い、荒野そのものの風景となります。1日や季節を通して様々な表情を見せるこの土地は「嵐が丘」の中で次のように描写されています。



“あの丘に囲いこまれた峡谷や、ずんぐりと険しいヒースの丘が連なる眺めは、冬ならば、これよりうら悲しい光景もないが、夏ならば、どこまでも神々しいのだ。”

遊歩道の最終目的地は「嵐が丘」のモデルとされるトップ・ウィズンズという廃墟で、小説の情景描写と似ているため、後世の人々はエミリーが「嵐が丘」を着想した場所と考えました。その説明のプラークが壁にはめ込まれています。

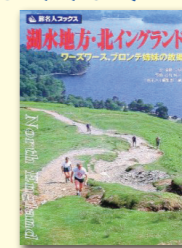


「嵐が丘」を書いた背景には、彼女が過ごした厳しい自然環境が深く影響していると思います。外界との接触を嫌い、内向的で孤独を愛し、生涯ハワースの隔絶された環境で過ごしたにも関わらず、このような激しい恋愛を描いた彼女の、内に秘めたものとはどのようなものだったのでしょうか。彼女が生きていた150年前とほぼ変わらない荒野を眺めながら、荒野へ、荒野へとさまよい歩くエミリーの姿を想像していました。

こんな本もあります!



野多恵子他著
『図説「ジェイン・エア」と「嵐が丘」 : ブロンテ姉妹の世界』
河出書房新社発行
本館所蔵 請求記号: K/930/Z8



須藤文明文、辻丸純一写真、「旅名人」編集部編
『湖水地方・北イングランド : ワーズワース、ブロンテ姉妹の故郷』
日経BP出版センター発行
生田分館所蔵 請求記号: J/293.3/Su14

図書館だよりからのお知らせ

「図書館のここが知りたい」、「こういう記事を読みたい」など、みなさんからのご意見を募集いたします。また、図書館や読書に関するエッセイ、今回の特集の様なブックレビューの投稿もお待ちしております。

●件名:「図書館だより」 ●所属、氏名を明記 ●内容:ご意見や投稿文 ●あて先: lib-dayo@acc.senshu-u.ac.jp